

身近な議会、 開かれた議会を目指して



築上町議会議長
田村 兼 光

新年あけましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい新春を迎え、皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、さらなる飛躍の年としてご活躍されますことを心から祈念申し上げます。

東日本大震災から3年が経過しようとしています。地震・津波の被災地域では、進捗の差はあるものの、インフラ復旧、住宅再建と産業・雇用の復興は進みつつありますが、原子力災害からの復旧・復興は遅れています。福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策を着実に進め、一日も早い復興を願うところであります。

さて、政府は本年4月から消費税率を現行の5%から8%に引き上げることを正式に発表しました。また、これと同時に総額1兆円規模の投資・雇用減税と、総額5兆円規模の経済対策を決定しました。これらの対策により安倍総理は「希望と活力、成長への自身を取り戻す。国の信認を維持し、社会保障制度を安定させ、厳しい財政を再

建する」と発言しています。

政府には、デフレ早期脱却と財政再建、社会保障の安定、領土問題などへの戦略的な取組みを強く期待したいところです。

今日、市町村を取り巻く環境は、地方分権の進展、少子高齢化の急速な進行、生活圏域の拡大と行政ニーズの多様化、国、地方を通じた危機的な財政状況など、大きくかつ急激に変化しています。こういう時こそ町民の皆さま方と議会、行政が一丸となつて乗り切っていかなければならないと考えています。

私たち議員一同、築上町民の代表として、身近な議会、開かれた議会運営を心がけ、地方自治の発展と住民福祉の向上さらには安全・安心なまちづくりに向けて誠心誠意、努力する所存です。

これからも築上町議会の活動にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。